



東証スタンダード
(証券コード：6524)

個人投資家向けIRセミナー（京都）

湖北工業株式会社



2025年11月28日

クオリティ企業をめざして

湖北工業はアルミ電解コンデンサ用リード端子と光部品・デバイスのリーディングカンパニーです。

目次

- I. 湖北工業の強みと成長性 P. 2
- II. 業績動向 P. 24

I. 湖北工業の強みと成長性

経営理念

豊かな個性を尊重する
全員参加型の経営を実践し、
新しい価値の創造を通じて、
オンリーワン企業を目指す



グローバル

海外売上高比率：70%

ニッチトップ

リード端子(金額ベース)
世界シェア：60%

車載向けリード端子(金額ベース)
世界シェア：90%以上

光アイソレータ(金額ベース)
世界シェア：50%

高収益

売上高営業利益率：24.7%

高成長

売上高（5年間）1.6倍

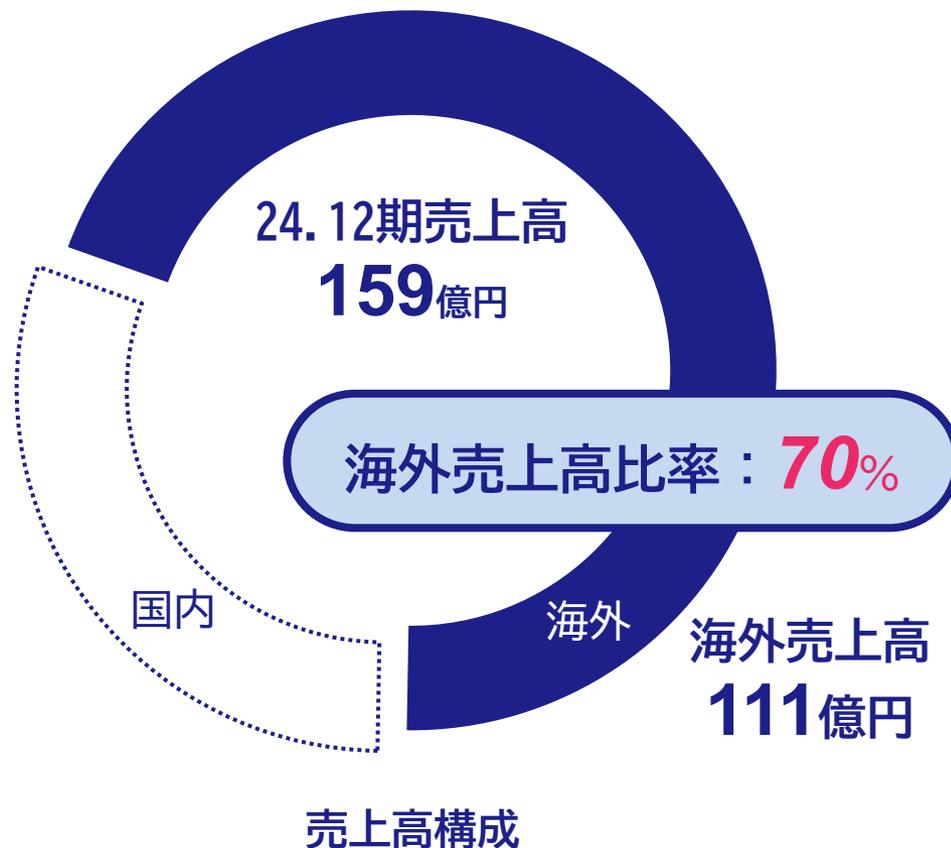
営業利益（5年間）：1.8倍

湖北工業とは

滋賀県から発し、グローバルに展開するデバイスメーカー

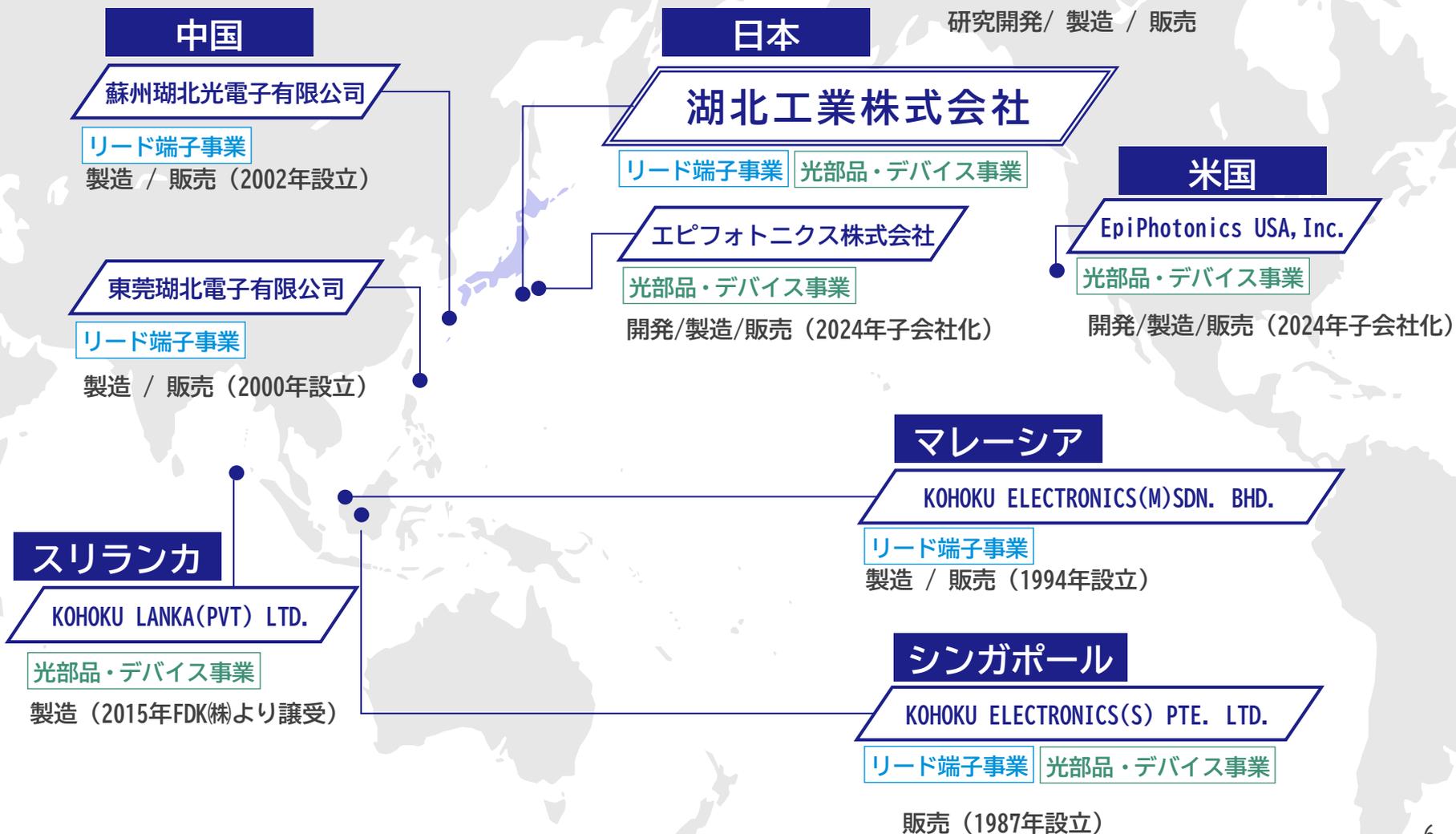
琵琶湖

湖北工業本社



1959年、滋賀県長浜市で設立

6か国8拠点から全世界に向けて展開



自動車、生成AI、海底ケーブルに欠かせない製品群を手掛ける

リード端子事業

アルミ電解コンデンサ用リード端子



世界シェア **60%**

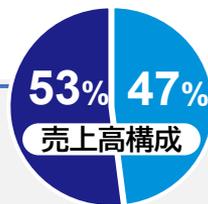
自動車&生成AI/データセンターの技術革新



車載



データセンター



主要製品

市場シェア

用途・貢献分野

光部品・デバイス事業

海底光ファイバ通信ケーブル用デバイス



世界シェア **50%**

通信の大容量化

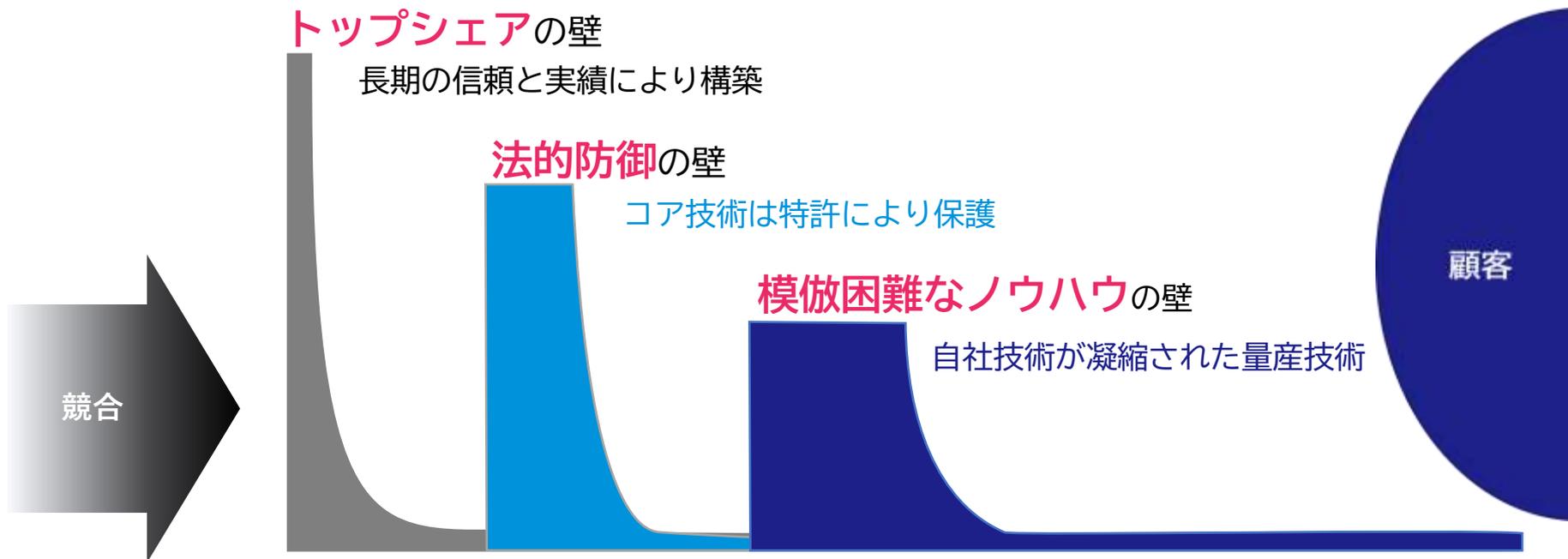


Beyond 5G



生成AI

コア技術を核に三重の参入障壁を構築



自社開発の製造装置で、唯一無二の一貫生産ラインを構築

模倣困難なノウハウの壁

コア技術

製造装置の全てを自社開発し、コア技術の掛け算により一貫生産ラインを構築



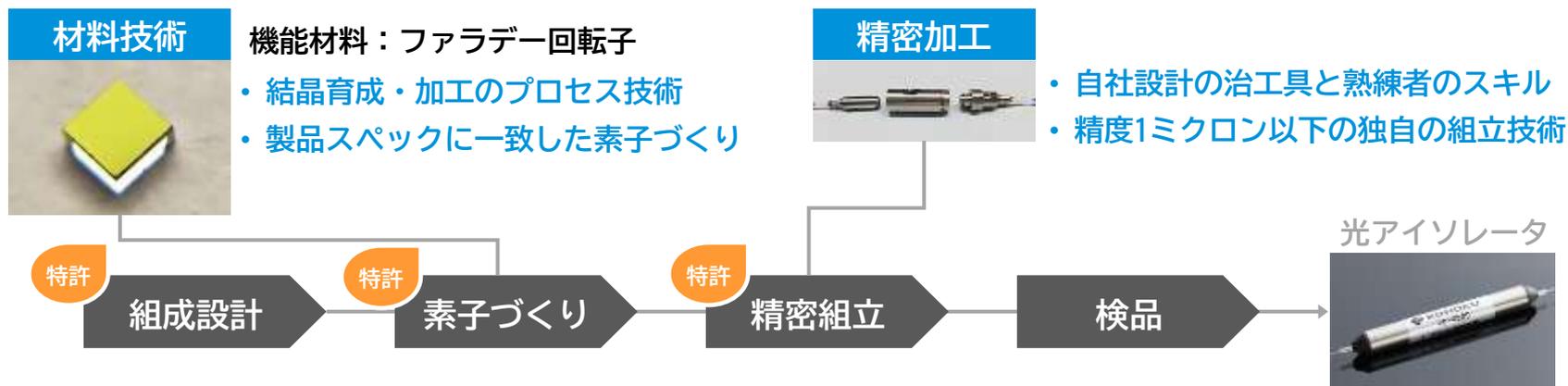
法的防壁の壁

コア技術は特許により保護

特許

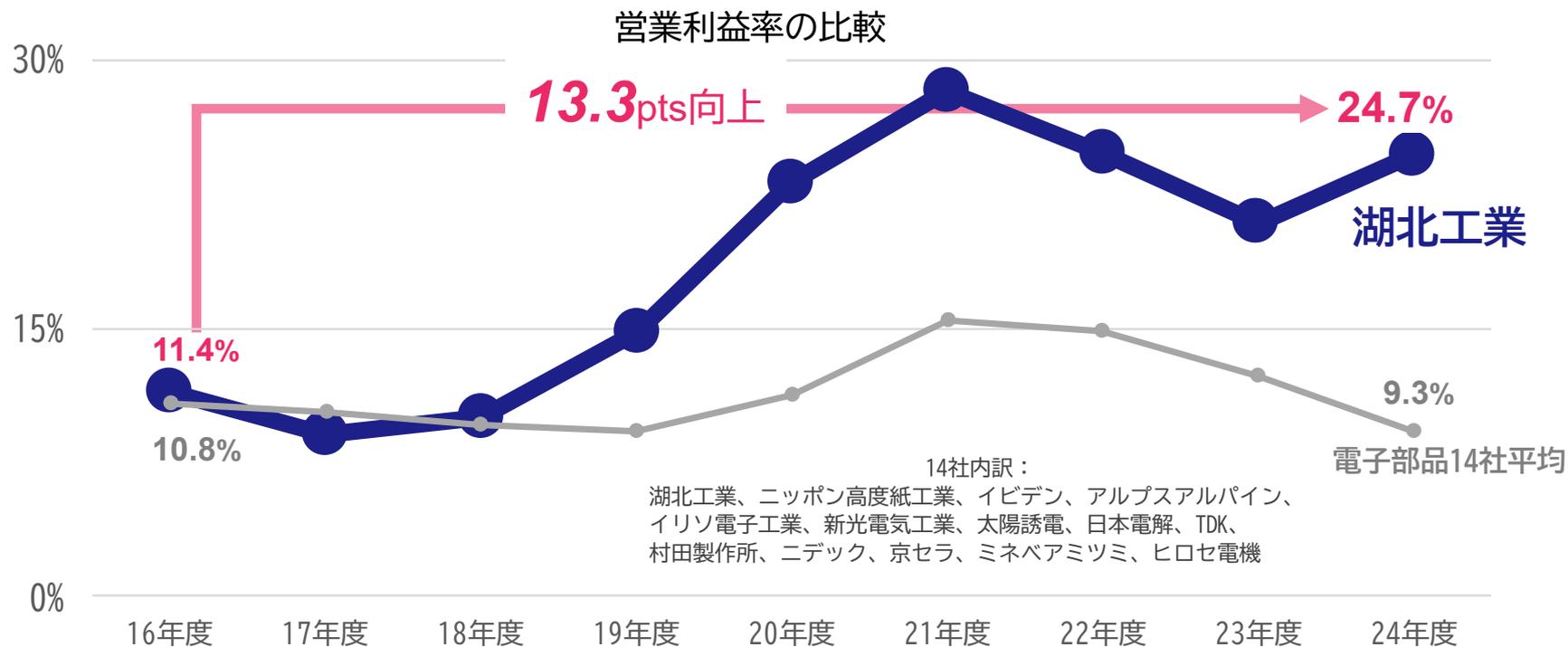
製品性能を決定づける機能材を自社生産する、独自の一貫生産体制

模倣困難なノウハウの壁 一貫生産の鍵となる、材料技術と精密加工が生み出す高信頼性



法的防御の壁 コア技術は特許により保護 **特許**

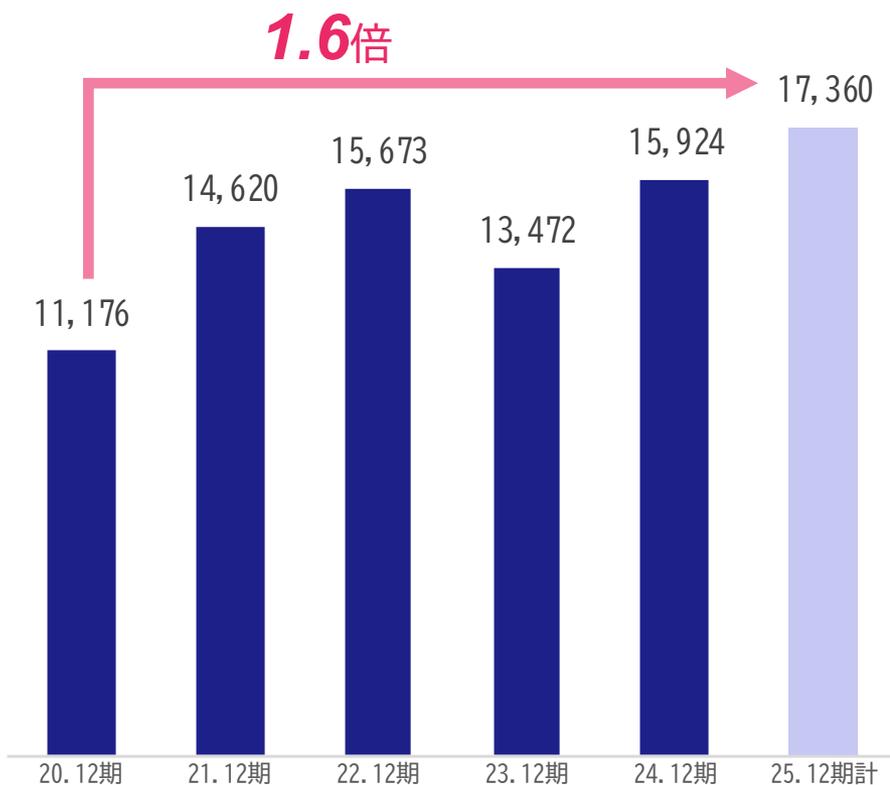
電子部品業界の平均を上回る高い収益率を実現



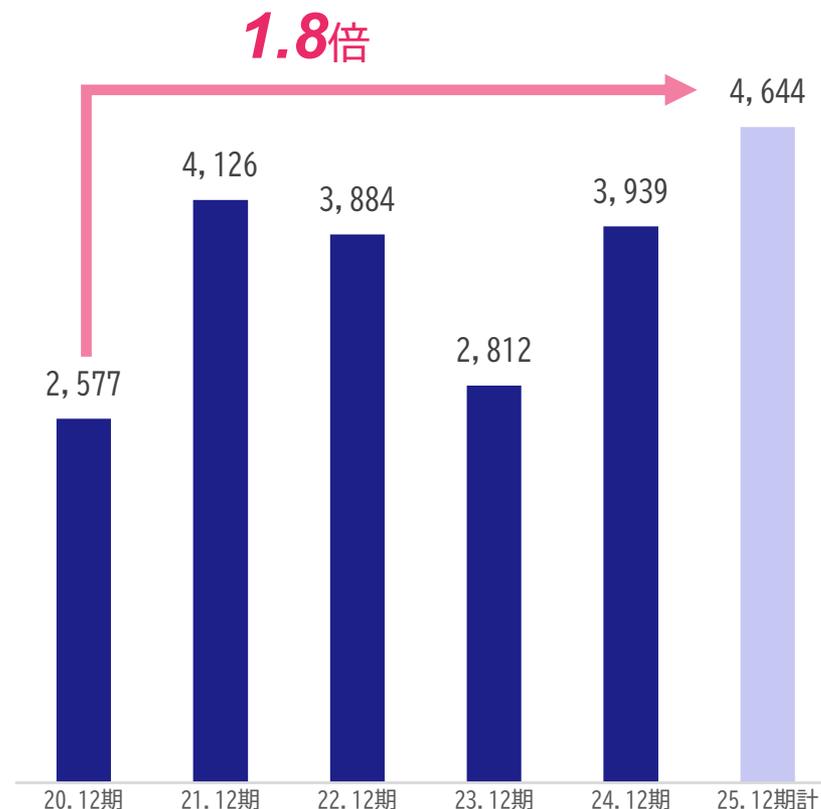
出所：各社決算資料

今期は過去最高の売上・営業利益の達成の予定

連結売上高（百万円）



連結営業利益（百万円）



車載・AI/データセンター向け
高付加価値製品の販売強化

CASE (クルマの電子化) の追い風



<求められるコンデンサ特性と高付加価値製品例>

- ・耐振動特性
- ・漏れ電流低減対策
- ・高静電容量
- ・誤作動防止特性
- ・耐温度特性



丸目加工



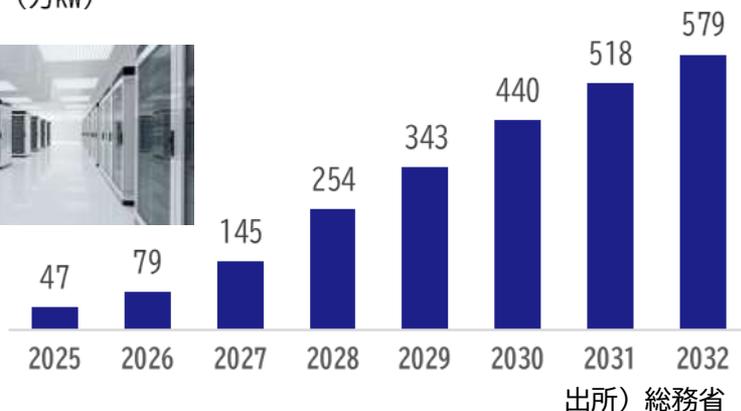
樹脂コーティング



耐振動加工

AI・データセンターの追い風

(万kW) 生成AI・データセンター市場の電力需要見通し

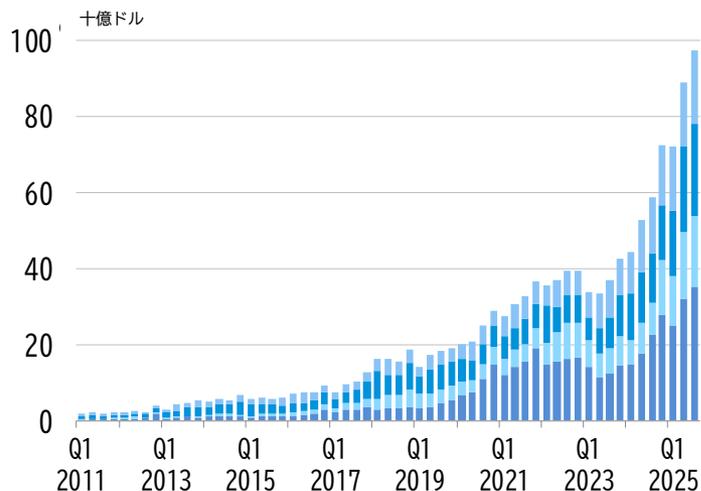


- ・漏れ電流特性
- ・高静電容量
- ・高リップル(低ESR)
- ・耐温度特性

競争優位性と収益拡大の鍵は多芯化

データ通信量の拡大

クラウド事業者の設備投資の推移



(出所) 会社資料

長距離海底ケーブルプロジェクト

太平洋横断プロジェクトの発表が相次ぐ

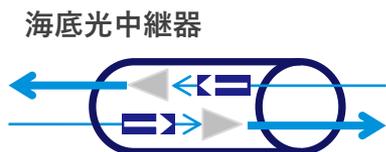
プロジェクト名	オーナー	サービス開始	距離(km)
Project Waterworth	Meta	n.a.	50,000
E2A	Chunghwa Telecom, SK Broadband, Softbank, Verizon	2029	12,500
ORCA	Meta	2027	12,482
Barat Timur Indonesia-2	Super Sistem (PT Super Sistem Data)	2028	11,600
ICE IV	Telecom Egypt, Teline&	2027	11,000

(出所) Telegeography

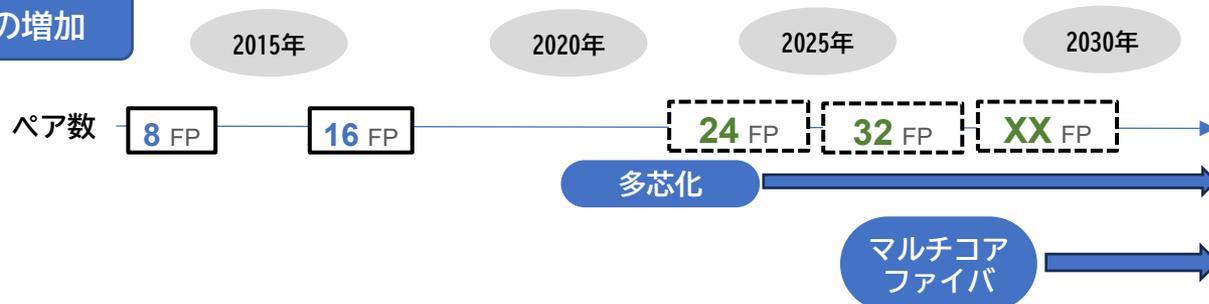
光アイソレータの需要

$$\text{大容量化} = \text{多芯化} \times \text{ケーブル増 (新設 + 更新)} = \text{光アイソレータ数量増}$$

光ファイバペア (FP) 数の増加



上り+下りの2芯で1光ファイバペア



経営ビジョン

オンリーワン企業の実現に資する研究開発、技術開発等を遂行していき、
高収益事業を構築していく

中期経営基本方針

- 市場開拓による事業規模の拡大
- 構造改革による収益力の強化
- 新たな GNT（グローバルニッチトップ）事業の創出
- 未来を担う人材の育成
- グローバル経営管理体制の強化

次世代事業

コア技術を活用して育成

成長事業

シェア拡大と新製品開発を実現

基盤事業

収益力強化を実現

光部品・デバイス事業

コア技術：原材料からの一貫生産

リード端子事業

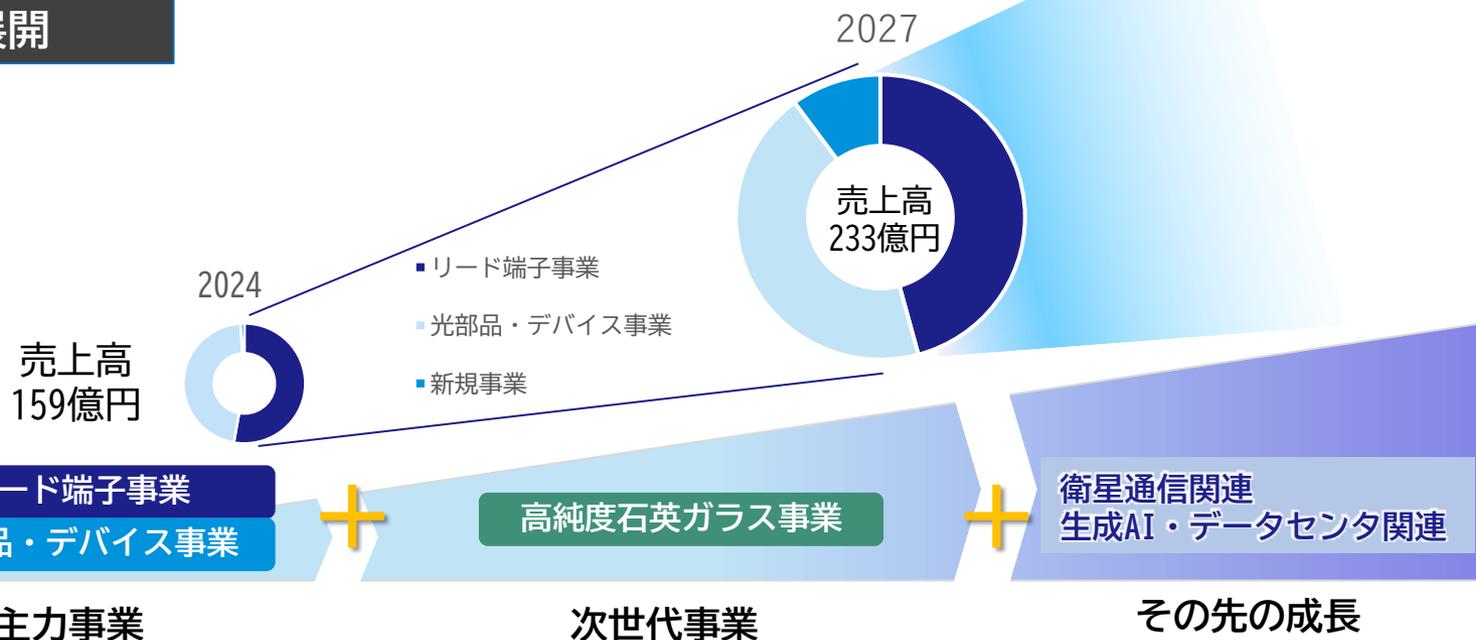
コア技術：業界最高水準の量産技術

目指す姿・事業ポートフォリオの考え方

経営理念

「豊かな個性を尊重する全員参加型の経営を実践し、新しい価値の創造を通じてオンリーワン企業を目指す」

事業展開



経営体制の強化

ガバナンス強化

- 監査等委員会設置会社へ移行、サステナビリティ活動強化
- プライム市場に向けた体制強化

米原新拠点構想

- 第3、第4の柱育成の為の中核拠点
- 利便性改善による採用拡大と顧客アクセス向上

その他

- 事業部門別のROIC改善に向けた取り組み強化
- 従業員のモチベーションアップ、業績意識の向上ほか
- リード端子、光部品・デバイス他営業体制強化

2027年までの中期経営指標

主力2事業の競争力をさらに高め、加えて第3の事業を成長軌道に乗せる

		2024. 12期 実績	2027. 12期 中期経営計画
成長性	売上高	159億円	233億円
収益性	営業利益	39億円	73億円
投資	設備投資	3年間の累計 約43億円	今後3年間で約94億円 (米原駅前新拠点54億円)
効率性	ROIC	12.2%	16%
	ROE	15.0%	18%
株主還元方針		連結配当性向：30%目標 DOE：3%以上	連結配当性向：30%目標 DOE：3%以上

高純度石英ガラス「SSG®」事業

スラリーキャスト法で製造する高純度石英ガラス「SSG®」

石英ガラス原料となるガラス粉末をスラリー（流動体）化させたものを金型に注入、乾燥してその後焼結、石英ガラス化することにより従来製法と同様の高純度を維持した上で自由度の高い成型を可能に！

① シリカ粒子をスラリー化



② 金型成型・乾燥



③ 焼結炉で焼結



特徴

- (1) 金型にスラリーを注入する方式により、成型の自由度が極めて高く、同一形状の量産も可能
- (2) 石英ガラスの塊（インゴット）を削り出すに比べて材料ロスが少ない

金型の設計により様々な形状の成型が可能

半導体関連用途や光学レンズなど



特殊ファイバプリフォーム



石英ガラスの種類と製造方法

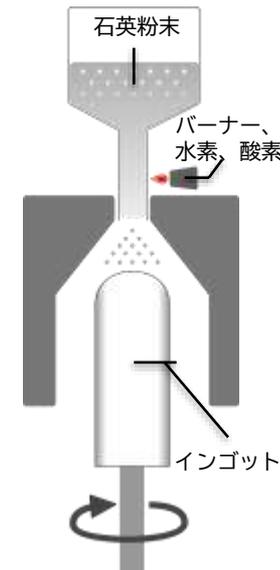
熔融石英 ... 天然石英を電気や酸水素炎で加熱・溶融して作製

合成石英 ... 液体原料（ SiCl_4 :四塩化ケイ素）から合成して作製

SSG®（第3の石英ガラス）

- ・ 高純度石英ガラスでありながら、成型の自由度が高い
- ・ 無水合成石英と同等レベルの広い波長領域での光透過が機能

熔融石英の製造方法例（火炎溶融法）



高純度石英ガラスとは

- ・ 高純度石英ガラスは、非常に高い純度と優れた物理的特性（耐熱性、耐浸食性など）を持つガラス
- ・ 半導体の製造工程や光学用途に広く利用される

※熔融石英及び合成石英に関する内容、イラストは「ガラス工学ハンドブック」（朝倉書店）「ガラスの百科事典」（朝倉書店）を参考にして当社が作成したものです。

さらなる成長への取り組み

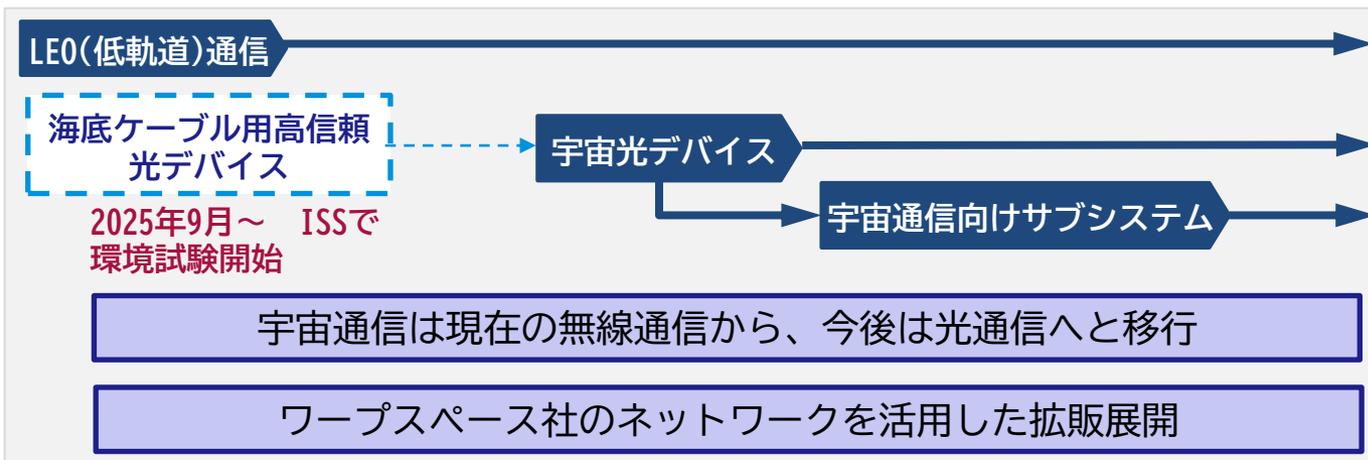
次世代海底ケーブル向けに加え、生成AIデータセンタ、宇宙通信領域へ進出

2025年 ————— 2027年 ————— 2030年 ————— 2035年

生成AI
データセンタ



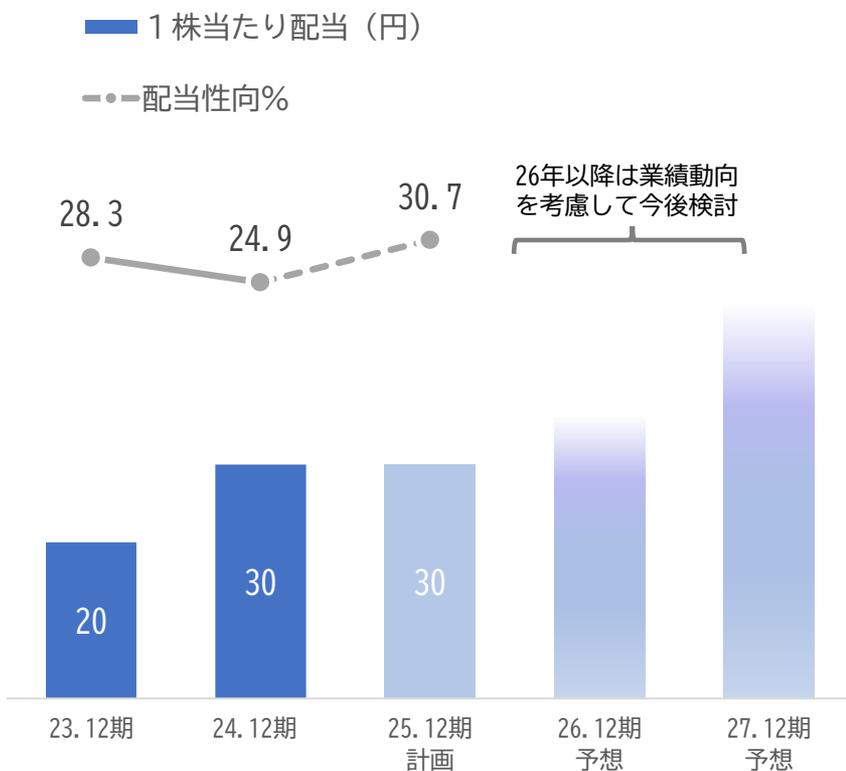
宇宙通信



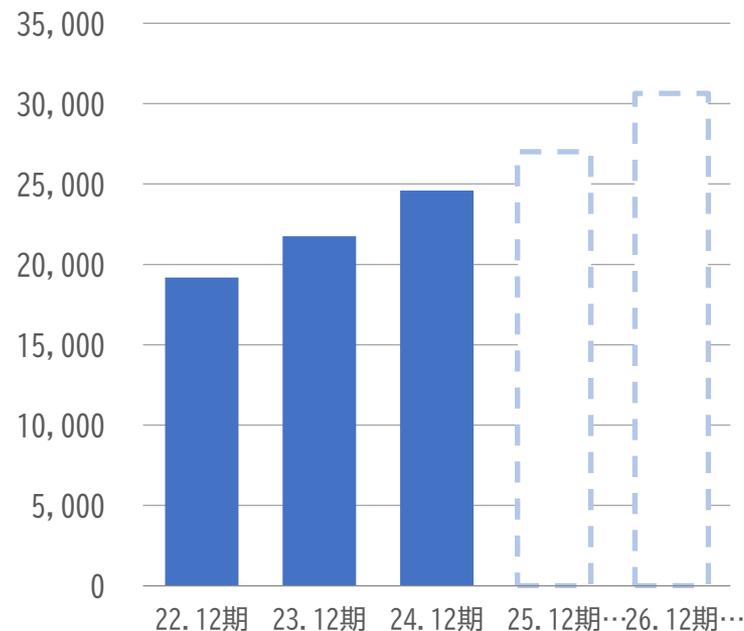
株主還元方針

- ① 連結配当性向は、引き続き30%を目標とする
- ② 併せて、安定配当のニーズを踏まえ、D0E3%以上を基準とする

配当金の推移



自己資本の推移 (百万円)



社会的課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

湖北工業グループを挙げての継続的な活動を推進しています

様々な活動事例

E 環境

生産拠点における再生エネルギーの活用



中国東莞工場、本社工場における太陽光発電

生産効率改善によるCO2排出量削減



環境配慮型製品の開発

S 社会

自然環境保護活動



山門水源の森 保護 伊吹山 植生支援

「2025国スポ・障スポ大会」支援

能登半島地震に義援金：1,000万円

農業高校への奨学金プログラム支援



G ガバナンス

監査等委員会設置会社への移行
(2025年3月)

コーポレートガバナンスコードの
実効性評価

業務標準化の推進、内部統制の
強化

コンプライアンス教育、研修の
強化



株価推移



株価 **3,410円**

2025年11月20日 終値

市場	東証スタンダード
証券コード	6524
最低投資金額	約34万円
時価総額	887億円
1株配当 (25.12期予定)	30円
予想配当利回り	0.88%
予想PER	35.13倍
実績PBR	4.08倍



✓ グローバルに展開する、滋賀県発のデバイスメーカー

✓ 自動車と生成AI/データセンター、海底ケーブルに欠かせない製品群を手掛ける

✓ 高付加価値品に特化し、高い競争力により世界トップシェアを確立

✓ 電子部品業界の平均を上回る利益率を誇り、25.12期は過去最高決算を狙う

✓ 高純度石英ガラス、衛星通信関連等の次世代事業で中長期の成長を目指す

Ⅱ. 業績動向

2025年12月期(3Q累計)のハイライト

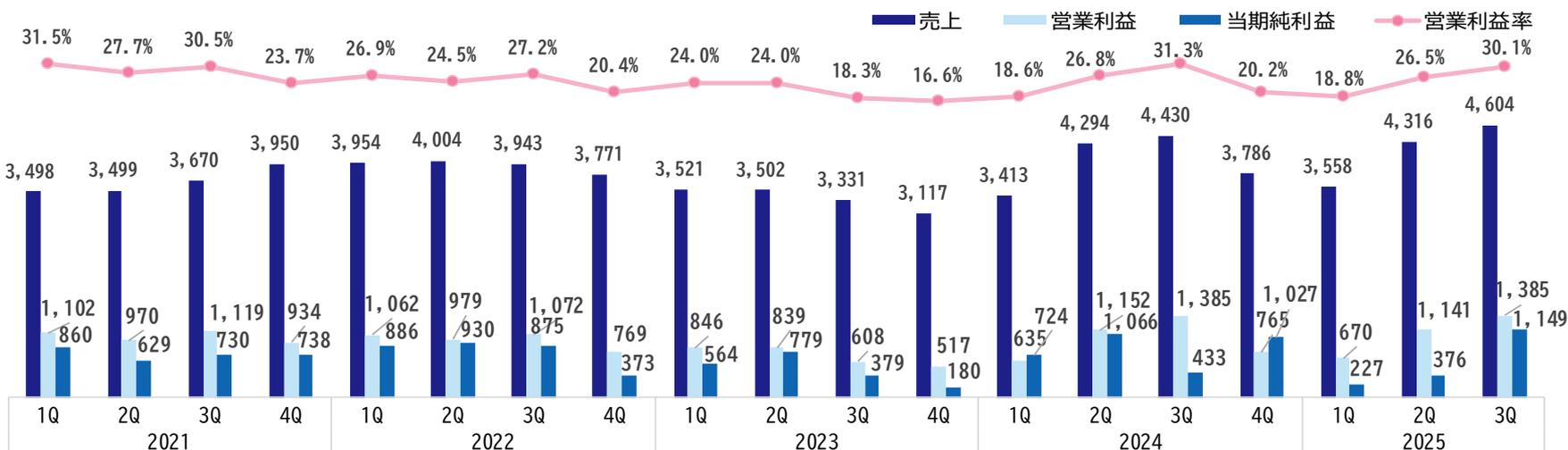
<業績概要>

- 3Q累計の業績は前年同期比で売上が +2.8% (+342百万円)、営業利益は +0.8% (+23百万円) の増収増益、3Q以降も堅調な状況が続く見込み
- 1Qの売上は低調だったが、主力2事業共に2Q以降改善傾向。リード端子は、市場回復が緩やかな中で収益改善が継続。光部品・デバイスは、売上拡大が続いた
- 為替差損等の発生により当期純利益は前年同期比 $\Delta 21.1\%$ ($\Delta 469$ 百万円) の減益

<事業環境>

- 海底ケーブル市場は、1Qに個別要因による一部調整が発生したがその後回復、順調な海底ケーブルのプロジェクト投資を背景に好調な受注が継続
- 情報通信インフラ市場では、生成AI・データセンタ市場が好調、両事業に対してプラスの影響
- 民生機器市場の厳しい状況、自動車関連市場の停滞等により、アルミ電解コンデンサ市場は回復が弱い状況

売上高、営業利益、当期純利益、営業利益率 (百万円、%)



2025年12月期業績の見通し



主力2事業ともに売上は改善傾向。利益面でも改善が続き、過去最高の売上・営業利益を達成の見通し

	2024年12月期 実績	2025年12月期（計画）			
		当初予想	修正予想（8月）	修正予想の前期実績比	
売上高	15,924	17,919	17,360	+1,436	+9.0%
リード端子事業	8,403	9,298	8,822	+419	+5.0%
光部品・デバイス事業	7,520	8,621	8,537	+1,016	+13.5%
営業利益	3,939	4,586	4,644	+704	+17.9%
営業利益率	24.7%	25.6%	26.8%	+2.0pt	-
リード端子事業	403	746	878	+475	+117.8%
光部品・デバイス事業	3,536	3,839	3,765	+228	+6.5%
経常利益	4,856	4,474	4,216	△640	△13.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,252	3,006	2,538	△714	△22.0%
1株当たり当期純利益（円）	120.50	115.30	97.31		
為替レート（期中平均）	151.69円/\$	150.00円/\$	150.00円/\$		

※＜為替感応度＞は、1米ドルに対して1円の変動が1年間続いた場合の試算値

- ・リード端子事業では、売上の回復が緩やかな状態が続く
- ・光部品・デバイス事業では、海底ケーブル向けの受注が引き続き増加。ファラデー回転子についても生産能力拡大により売上増加が継続



ご清聴ありがとうございました



クオリティ企業をめざして

湖北工業はアルミ電解コンデンサ用リード端子と光部品・デバイスのリーディングカンパニーです。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

湖北工業株式会社 広報・IR部

E-mail ir@kohokukogyo.co.jp

TEL 0749(85)3211 FAX 0749(85)3217
